

Dentistry & Technology

歯科医療&テクノロジー

近

年のインプラント治療は、急速なデジタル化にともない飛躍的に進歩しています。診断（術前に治療計画を立案する段階）、外科（インプラントの埋入）、補綴（土台となるアバットメント上部への人工歯の装着）、これら全ての分野において、2000年以降、大きな進化を遂げました。

ます。非常に正確な診断が可能となり、繊細でより安全な治療計画を立案できるようになりました。

【外科】 特別なサージカルテンプレートというものを作製し埋入時に使用する「コンピューターガイドドサージエリー」という方法の登場によって、格段に精度の高い手術が可能となりました。当院では、シンプラント、ランドマークシステム、ノーベルガイドという最適化されたサージカルテンプレートを作製しております。

【補綴】 インプラント義歯作製時にCAD/CAMを応用することで、従来よりも適合性に優れ、さらに予知性の高い人工歯を作製することができるようになりました。当院の補綴物は、国内屈指のインプラント専門技工士が設計を担当し、プレームの作製はアイサス（ベルギー）などの分野をリードするヨーロッパで行われます。各分野のエキスパートの専門技術とデジタルテクノロジーが融合することで、精密で美しい

最終補綴物を作製することが可能になっています。

このように、インプラント治療のデジタル化は、より安心・安全かつ予知性の高い治療をもたらしてくれています。当院では、これらのデジタルテクノロジーを積極的に取り入れることで、より質の高い治療をご提供してまいります。



カスタムメイドのアバットメントの設計段階
ジルコニア上部冠の設計段階
コンピューター上で噛み合わせを調整しています
審美領域である前歯部分のアバットメント及びジルコニア冠の設計段階
カスタムメイドのジルコニアアバットメント
CAD/CAMにより作製されたジルコニアクラウン
カスタムメイドのチタンアバットメント
コバルトクロム製のメタルフレーム

現在当院ではほとんどのケースをコンピューターテクノロジー（CAD/CAM）を駆使してアバットメント及び上部冠を作製しています。理想的な形態を付与することが可能で精度が高く美しく仕上げることができます。



コンピューター上の設計が、実際の治療で厳密に再現されるように「サージカルガイド」という器具を用います。インプラントの埋入角度や深さをガイド（誘導）するもので、設計通りの位置に埋入することができます。

当院では、CTで撮影したデータをインプラント専用の解析ソフトで分析します。歯と骨の状態を立体的に捉えることができるため、事前に最適なインプラント埋入ポジションを計画することができます。

Information

当院でインプラント治療を終えられた患者様へ

当院では、インプラントをいつまでも快適にご利用いただけるよう、定期的に来院いただきメンテナンスを受診されるようお願いしております。

インプラント治療の後メンテナンスに来院されていない患者様は、できるだけ早めにご予約の上来院いただきますよう、よろしくお願いたします。

各種ご案内

Academic Activity

学術講演&スケジュール

デ

デジタル歯科医療を駆使した安治療を行ってきた当院の業績を、より多くの歯科医師に伝えることも私の使命だと考えております。最近では、国内外の研修会や大学に講師として招いていただく機会も増え、少しでも歯科医療の発展に貢献できることに感謝いたしております。

2012年度の学術講演活動	
3/11	ITIプロダクトトレーニングコース(梅田スカイビル) 歯科医師向けのインプラントトレーニングコース 世界シェアNo.1で歴史あるスイスのインプラントシステムについて、多くの歯科医師に指導いたしました。
4/5	大阪大学第二補綴科へのインプラントトレーニング(大阪大学内) 大阪大学第二補綴科の歯科医師(医局員)向けに、講習会および簡単な模型を使用した実習指導を行いました。
4/15	ISUS 講演会(千里ライフサイエンスセンター) 歯科医師および技工士向けの講演会 ヨーロッパのCAD/CAMを使用したインプラント上部構造の講演会です。約150人の歯科医師や技工士向けに講演を行いました。
5/4	BORG(バルセロナ・オッセオインテグレーション・リサーチグループ)との共同講演会(スペイン バルセロナ カタルーニャ国際大学内) 世界的に著名なBORGの先生方とのコラボレーションで、現地歯科医師向けにインプラント症例に関する発表およびディスカッションを行いました。
6/17	CAD/CAMを応用したインプラント上部構造に関する講演(AQUA博多) 九州の歯科医師および技工士向けに、CAD/CAM技術を応用したインプラント治療の講演を行いました。
7/21	大阪大学歯学部臨床談話会(大阪大学大講堂) 大阪大学歯学部卒業生等に向けた講演会 インプラント治療の変遷およびデジタル技術を使用した最新のインプラント治療の紹介を行いました(コンピューターガイドドサージエリーおよびCAD/CAM上部構造)。
1/24	岡山大学インプラント科医局員向け講演会(岡山大学構内) 岡山大学インプラント科に所属する歯科医師向けの講演会 デジタル技術を活用した診断、外科、補綴に関する最新情報について講演いたしました。安心・安全で予知性の高い(長期的予後の良い)治療のためにはどうすればいいのか等の講演です。
1/27	東日本大震災チャリティシンポジウム(京都市内講演会場) 歯科医師向けのシンポジウム 外科、補綴等のセッションに分かれて全国から集まった先生方の中の1人として講演いたしました。テーマはデジタル技術を使用したインプラント補綴の過去・現在・未来についてです。
3/28	JUPI 勉強会での講演(牧草歯科医院内講演会場) 京都の世界的に有名な牧草先生の勉強会に講師として招かれました。東北、東京、名古屋等の遠方からお越しの歯科医師の先生方や近畿の先生方に向けた講演を行いました。
4/18	アストラテックインプラントセミナー(梅田スカイビル) スウェーデンの歴史あるインプラントシステムに関する歯科医師向け講演会 信頼性が高く歴史あるアストラテックインプラントシステムについて、デジタル技術を活用したインプラント治療を紹介する講演を行いました。



2012年5月に、スペインのバルセロナにあるカタルーニャ国際大学に招かれて100名を超える現地の歯科医師に対して講義をした時の様子です。



2013年1月に開催された岡山大学歯学部のインプラント講習会の様子。岡山大学大学院臨床専門医養成コースに在籍する歯科医師に向けてデジタル歯科医療の最先端トピックスを中心とした講義を行いました。日本の場合、新しい治療技術や医療機器の導入に関しては大学病院より開業医の方が進んでいることが多く、このように外部の開業医を大学の講師として招き、最先端の医療について学ばせるということが行われています。



2012年7月には、出身校である大阪大学歯学部に講師として招かれました。

Maintenance

メンテナンスの重要性

イ

インプラントを長期に安定して使用するには、事前の診査診断から実際の埋入までがとても大切です。

天然の歯と同じように噛めるインプラントは、天然の歯と同様、きちんとした歯磨きや定期検診を受けなければ歯周病(インプラント周囲炎という)にかかる可能性があります。言い換えれば、適切なブラッシングと歯科医院での清掃さえ行えば、インプラントがぐらぐらしたり抜けてしまうことは十分予防できると言えます。



インプラント治療後のメンテナンス方法について講義を行う当院の歯科衛生士たち。インプラント専門医院で豊富な経験を積んでいる彼女たちは、専門的な知識と蓄積された技術を持っています。